

神戸海星女子学院大学  
教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)

本学では、建学の精神と教育理念に基づいて、教育目標と学位授与方針の実現のため、共通科目と専門科目から課程を構成しているが、KAISEI パーソナリティを土台としてその編成・実施方針を次のように定めている。

1. 本学の建学の精神にあるキリスト教に基づいた倫理観を涵養する。

グローバルな視野をもった人間として成長するために、歴史における神と人間との関係を理解し、人間が神に愛されている存在であることを知り、学生が自らの人生観を形成するための一助とする。(共通科目:キリスト教)

2. 現代社会で自律した人間として生きるための基礎的な汎用能力を育成する。

他者とのコミュニケーション能力を高めるため、アカデミックスキルを身につけるとともに日本語運用能力と情報活用能力を高め、グループで協働して学ぶ力を養う。(共通科目:日本語、情報、学国語)

3. 思考力を深め、他者の意見に耳を傾け、自ら判断して主体的に行動する力を養う。

問題を発見・検討・解決する能力、自分の考えを伝える能力を育てるために、対話を重視し、課題解決型の授業方法を適宜取り入れる。(共通科目:基礎、総合)

4. 専門分野において基礎的な学びを出発とし、段階を追って知識の重層的な修得と実践力の向上を目指す。

英語観光学科では、

英語による基本的なコミュニケーション能力(基礎科目)

クリティカルな思考を英語で表現できる高度なコミュニケーション能力(基幹科目)

異文化理解力・ホスピタリティに関する知識及び実践力(基礎科目、展開科目)

観光、英語教育等に関する専門的な知識及び実践力(基幹科目、展開科目)

を修得する。

心理こども学科では、

子どもの心理と発達に関する専門的な知識と技能(心理・臨床・発達)

保育や幼児・児童教育に関する知識と技能(こどもの生活世界、こども関連)

現代の子どもの諸問題に対処し、保護者を支援する専門的な知識と技能(資格関連科目)を修得する。

各分野の特色に応じ、人間理解の広がりや国際的な視野のもと、社会に貢献できる豊かな知識を獲得するよう授業科目を構成する。また、実習・実地研修等、自ら行動して振り返る作業も重視する。演習の場で各自の課題の研究を深め、卒業研究作成を通して4年間の集大成を行う。

5. 学生一人ひとりの社会における自己実現を支援するため、キャリア教育を重視する。

入学時からコミュニケーション能力の開発をはじめ、卒業にいたるまで、教職員との出会いを大切にするキャリア教育に力を入れる。(共通科目、専門科目)